

平成30年度
第50回東北高等学校対抗自転車競技選手権大会

監督会議資料

日 時：平成30年6月14日（木）14：00～

場 所：紫波町総合体育館 研修室

第50回東北高等学校対抗自転車競技選手権大会

監 督 会 議

司会進行 齊藤 謙 (岩手)

- 1 開会の言葉 司会より
- 2 部長挨拶 東北高体連自転車競技専門部長 榎 誠司 先生
(山形県立村山産業高等学校長)
岩手県高体連自転車専門部長 馬場香樹 先生
(岩手県立紫波総合高等学校長)
- 3 出場選手の確認 事務局で確認後、会議終了前までに通知する。
- 4 運営上の確認及び注意
 - (1) 競技日程 競技委員長 佐藤 真
 - (2) 競技運営上の注意 審判長 花立 政広
 - (3) 大会運営上の注意 総務委員長 猿舘 貢
 - (4) ロードレースについて 競技委員長 猿舘 貢
 - (5) 開会式・閉会式・表彰式について 総務委員長 猿舘 貢
 - (6) 諸連絡 総務委員長 猿舘 貢
 - (7) その他
- 5 閉会の言葉 司会より

(1) 競技日程

天候等で日程を変更する場合は、競技委員会および監督会議の意見を参考にして総務委員長が決定する。

[第1日目] 6月15日(金)		競技役員集合	8:00
種目名	人数	組数	時間
1 チーム・スプリント予選	17チーム	9組	9:00
2 4kmチーム・パーシュート予選	9チーム	5組	9:30
3 スプリント予選		19名	10:10
4 2kmインディヴィデュアル・パーシュート決勝	19名	10組	10:50
5 3kmインディヴィデュアル・パーシュート決勝	14名	7組	11:30
【 昼 食 ～12:55 】			
6 1kmタイム・トライアル決勝	20名	10組	13:00
7 スプリント1/8決勝	12名	6組	13:35
8 ケイリン1回戦	18名	3組	13:55
9 スクラッチ予選(6km)	18名	2組	14:10
10 4km速度競走予選	16名	2組	14:30
11 スプリント1/8決勝敗者復活戦	6名	2組	14:50
12 女子ケイリン決勝	7名	1組	15:00
13 ケイリン敗者復活戦	12名	2組	15:10
トラック競技表彰式			16:00

男子: 1kmTT, 3kmIP 女子: KR, 2kmIP

[第2日目] 6月16日(土)		競技役員集合	8:00
種目名	人数	組数	時間
14 チーム・スプリント3・4位決定戦/決勝	4チーム	2組	9:00
15 4kmチーム・パーシュート3・4位決定戦/決勝	4チーム	2組	9:10
16 500mタイム・トライアル決勝	19名	10組	9:25
17 スプリント1/4決勝	8名	4組	9:55
18 ケイリン2回戦	10名	2組	10:25
19 スクラッチ決勝(8km)	12名	1組	10:35
20 スプリント1/2決勝	4名	2組	10:50
21 ケイリン7～10位決定戦	4名	1組	11:05
22 男子ケイリン決勝	6名	1組	11:10
23 4km速度競走決勝	12名	1組	11:20
24 女子ポイント・レース決勝(16km)	5名	1組	11:30
25 ポイント・レース決勝(24km)	15名	1組	11:50
26 スプリント順位決定戦(決勝/3・4位/5～8位)			12:30

【競技順】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①男子3・4位決定戦(1回戦) | ④男子3・4位決定戦(2回戦) |
| ②男子決勝(1回戦) | ⑤男子決勝(2回戦) |
| ③男子5～8位決定戦 | ※必要に応じて3回戦を実施 |

【 昼 食 ～13:30 】

トラック競技表彰式 13:30

男子: TS, TP, SC, KR, MS, PR, SP, 学校対抗
女子: 500mTT, PR, 学校対抗

インターハイ出場者選考会議(紫波自転車競技場 大会本部) 14:00

[第3日目]	6月17日(日)	競技役員集合	7:30
27	個人ロード・レース	男子77.8km	65名
		女子29.3km	19名
	インターハイ出場者選考会議(紫波町総合体育館)		13:30
	表彰式・閉会式		14:00~

(2) 競技運営上の注意

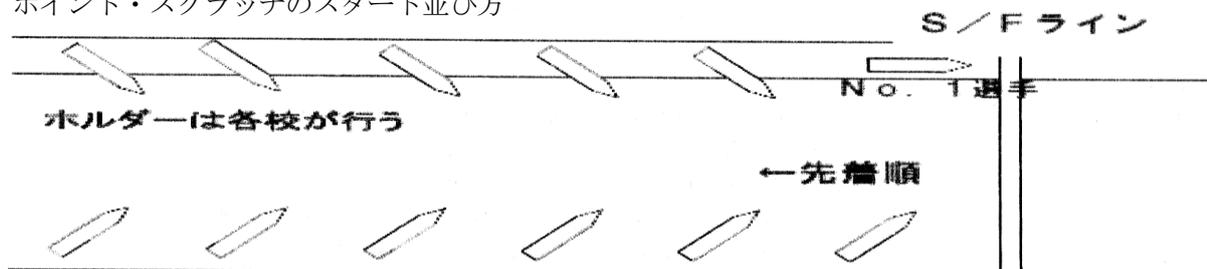
2018年度(公財)日本自転車競技連盟規則、および大会特別規則で実施する。
 下記に記載されていない事項については、競技規則により実施するので注意すること。

<トラック競技>

- ① 手動計時で記録する。
- ② スタート方法
 - 1 第64条第2項により、出走する競技者がスタートラインに集合できない場合は、その競技者を除外して競走を行う。団体種目のチーム・パーシュートとチーム・スプリントは、特に注意すること。
 - 2 スプリント、スクラッチ、ポイント・レースのホルダーは各校で行う。
 - 3 タイム・トライアル、パーシュート、チーム・スプリントにおいては、H/Bの選手(チーム)がスタート地点に整列完了した時点で、20秒からのカウントダウンを行う。
 - 4 エアロヘルメットは、スプリント予選、タイム・トライアル、パーシュートおよびチームスプリントのレースのみ使用を認める。練習中は認めない。
 - 5 1kmタイム・トライアルと500mタイム・トライアルにおいて、不正スタート(フライング等)があった場合、号砲2発を打ち、双方とも競走を止め、直ちに再スタートをする。
 - 6 「H/B」はフィニッシュ位置を示す。
- ③ スプリント
 - 1 予選は、バックスタートの2.5周回とし、最後の200mを計時する。
 - 2 前走者が最後の1周(2周目)に入ってから、次走者を発走させ、以下同様とする。
 - 3 同タイムの場合は、後半の100mのタイムを優先する。
- ④ インディヴィデュアル、チーム・パーシュート

予選において、追い抜かれても追走しなければ完走を認める。但し、追走し続けたり、追い抜かれた選手を追い抜き返したり等、指示に従わない場合失格とする。
- ⑤ ポイントレース
 - 1 スタート位置については、ヘルメットカバー番号1番選手がスタートラインに着き、その他の選手は奇数番号が内側、偶数番号が外側に先着順に並ぶ(スクラッチも同様)
 - 2 ポイントレースにおける代車要員は1名とする。
 - 3 ニュートラリゼーションは3周(最後の1kmは戻れない=その時点までの得点での成績)
 - 4 最終5周以内に認められる事故に遭った競技者は、それまでの周回数、得点に基づいた成績を与える。
 - 5 中間スプリントの合図は電子ホイッスルとし、最終スプリントはベルとする。
 - 6 最終周回ポイントは2倍となる。
- ⑥ ケイリン
 - 1 5周回で行う。ペーサーは、2.5周回前に離脱する。
 - 2 ペーサー周回中はスタート地点に並んだ順番通り追走する。
 - 3 ペーサーが離脱する前にペーサーの前輪前端を追い抜いた競技者は失格とし、競技を停止する。失格とされる選手を除外して再スタートする。
 - 4 スタートから半周以内の事故は、再スタートを行う。(スタート順は同じ)
- ⑦ 4kmチーム・パーシュート、チーム・スプリント

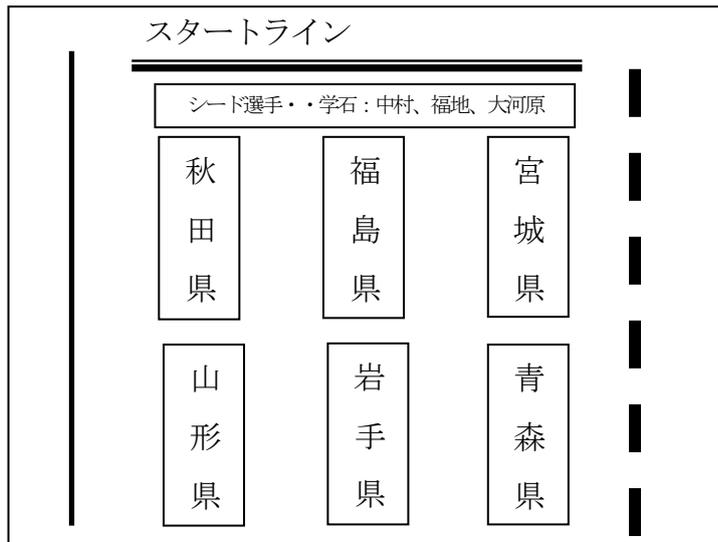
上位4チームによる3・4位決定戦と決勝戦の方式とする。(5~8位については、予選タイムにより決定する)
- ⑧ スクラッチ
 - 1 スタート位置については、ヘルメットカバー番号1番選手がスタートラインに着き、その他の選手は奇数番号が内側、偶数番号が外側に先着順に並ぶ。(ポイントレースと同様)
 - 2 ニュートラリゼーションは3周とする。(最後の1kmの間にはトラックに戻ることはできない)
- ⑨ ギヤ比チェック
 - 1 コミッセルが指定した選手及びランダムに選出された選手に対してギヤ比チェックを行う。
 - 2 ギヤ比チェックを受けなかった選手は失格とする。
- ⑩ ポイント・スクラッチのスタート並び方



- ⑪ 補欠起用について
監督会議の前までに申請用紙に記入し、総務委員長に提出すること。それ以降は認めない。
- ⑫ その他
 - 1 コミッセルの指示がない限り、シューズカバーの着用を認めない。(ロード競技においても)
 - 2 平成30年度東北高等学校対抗自転車競技選手権大会については、身体的理由での自転車検査を行わないが、自転車の重量確認(6.8Kg以上)は行う。
 - 3 登録ユニフォームを準備できない学校は、監督会議で使用するユニフォームを持参し、承認を得ること。
 - 4 今大会は、大会特別規則としてヘルメットカバーを使用する。(ケイリン、スクラッチ、4km速度競走、ポイントレース)

<ロード競技>

- ① 補欠起用
トラック競技2日目(16日)13時までに総務委員長に申請すること。
- ② ロードの出走順
前年度成績 福島→秋田→宮城→岩手→山形→青森の順で整列をする。前年度入賞者をシードとする。



- ③ 招集 (佐比内サイクルパーク駐車場)
 - 1 8時00分から8時45分までの間にサインシートに署名する。
 - 2 チップを使用する。
- ④ スタート方法
 - 1 名誉スタータが行う。(カウントダウンは行わない)
 - 2 男子は午前9時00分、女子は午前9時01分にスタートする。
 - 3 ヘルメットカバーは男子(白)・女子(赤)
- ⑤ 関門所(ゴール地点手前)
関門所において先頭集団(8位通過選手)から5分以上遅れの選手を失格とし除外する。除外された選手はヘルメットカバーを外し、速やかにコースからはずれること。
- ⑥ 補給場所
 - 1 ゴール地点に向かう上り坂を範囲とする(看板表示あり)。補給は2周回目~7周回目において認める。渡す際は、必ず選手の進行方向左側から行うこと。補給でのゴミなどもチームの補給員に渡すこと。
 - 2 先頭集団に機材車を準備するので、スタートの30分前までに本部に届け出ること。スペアホイールは各県3ペアまでとする。その際、学校名と変速数がわかるように記載すること。
- ⑦ ギア比チェック
 - 1 ゴール直後に上位選手(20名程度)のギア比チェックを佐比内サイクルパーク駐車場で実施する。
 - 2 ギア比チェックを受けなかった選手は失格とする。
- ⑧ その他
 - ・競技中、緊急車両等、不測の事態が生じた場合、選手は徐行し係員の指示に従うこと。

(3) 大会運営上の注意(トラック・ロード共に)

- ① 選手監督の入退場はすべて地下道出入口とし、走路の横断は行なわないこと。
- ② 招集はバンク内地下道出入口1ヶ所とする。
- ③ 招集はスタート15分前までとする。
- ④ 使用したヘルメットカバーは、責任を持って返却をすること。
- ⑤ 団体種目のメンバーはスタートの1時間前までに招集に申告すること。
- ⑥ 自転車の保管については、東側観客(4コーナー側)席下で保管するが、高額機材等については各校で管理すること。
- ⑦ 保管開閉時間は、7時10分~17時30分とする。

- ⑧ 表彰
 1 表彰式の服装は、競技用ジャージ、もしくは各校の統一ユニホーム・スニーカーで参加すること。
 2 団体種目の賞状は、実際に出走した選手名で授与する。
 3 団体種目の表彰は、代表者1名のみとする。
- ⑨ リザルト・スタートリスト・コミュニケは召集所と地下道入口に場所を設けてそこに掲示する。
 大会リザルトは大会終了後、USBメモリーにて各県専門委員長に配布する。

(4) ロードレース会場について

- ① コースは生活道路のため、試走の際は車両や歩行者に十分気をつけて走行すること。また交通量が多く、交差点等の急カーブには十分に注意すること。
 ② 佐比内サイクルパーク駐車場以外に駐車しないこと。

(5) 練習時間（トラック）

6月13日(水)	14:00～16:00 (フリー練習)
6月14日(木)	8:00～11:55 (2県毎, 女子)
6月15日(金)	競技期間中の朝練習はありません
6月16日(土)	

- ① 会場準備のために、一時練習を中断させる場合があります。
 ② 練習には監督が立会い、事故やトラブル等の場合は当事者間で話し合い解決すること。
 (事故の賠償責任は一切負わない)
 ③ 練習中は放送の指示に従って下さい。注意事項を守らない学校は、それ以後の指定練習を中止させる。

(6) 医療救護について

練習中・大会期間中

15日(金)～16日(土) … 管理棟1F医務室に看護師常駐

17日(日) … 大会本部(スタート・ゴール地点)に看護師

※上記期間以外は各校で対応。

(7) 宿泊・弁当について

- ① 宿泊先は、東武トップツアーズ盛岡支店によって決定される。
 ② 弁当の引き渡し場所については、競技場外地下道入口付近のツアーデスク(15日～16日)
 17日は佐比内サイクルパーク駐車場、いずれも時間帯は11時00分頃～13時00分頃
 ③ 宿泊料・弁当代の支払いは、各校が東武トップツアーズに支払う。
 ④ 人数の変更、食事の時間については、各校が直接宿舎に連絡して決定すること。

(8) ゴミ処理について

- ① ゴミは原則持ち帰りとする。
 ② 弁当とお茶の空箱は、弁当引き渡し場所で回収するので、各校まとめて持参すること。(おおよそ14時)

(9) その他

- ① 競技場内や控所、宿舎等において機材や貴重品の盗難には十分注意し、各自、各校で責任を持つこと。
 ② 大会期間中は、各校代表選手としての自覚を持ち、全ての場面で自分の言動に責任を持つこと。

「開会式・閉会式・表彰式次第」

1 開会式 日 時：6月14日(木) 15:00～
 場 所：紫波町総合体育館

選手団所定の場所に整列(14:50に場内整列完了)

- (1) 開式通告
 (2) 選手団紹介
 (3) 開会宣言(東北高体連自転車競技専門部委員長 佐藤 真)
 (4) 国歌斉唱
 (5) 優勝旗・優勝杯の返還、レプリカ授与(東北高体連自転車競技専門部部长 榎 誠司)
 《トラック：紫波総合(岩手) ロード：学報石川(福島) 総合：学報石川(福島)》
 (6) 大会委員長あいさつ(東北高体連自転車競技専門部部长 榎 誠司)
 (7) 歓迎の言葉(紫波町長 熊谷 泉 様)
 (8) 審判長注意(花立 政広)
 (9) 選手宣誓(岩手県 紫波総合高校 佐藤 威吹) ※各校選手団は、校旗を持ち宣誓者を囲む。

- (10) 閉式通告
 (11) 選手団退場
- 2 表彰式
- (1) トラック競技表彰式
 日 時：6月15日(金) 16:15頃 16日(土) 14:10頃
 場 所：紫波自転車競技場内
- (2) ロード競技表彰式(閉会式の中で)
 日 時：6月17日(日) 14:00頃
 場 所：紫波町総合体育館
- 3 閉会式 日 時：6月17日(日) 14:00頃～
 場 所：紫波町総合体育館
- (1) 開式通告
 (2) 成績発表(ロード競技・総合成績)
 (3) 表彰(ロード競技・総合成績)
 (4) 審判長講評(岩手県 中野崎敏幸)
 (5) 大会委員長あいさつ(岩手県高体連自転車競技専門部部長 馬場 香樹)
 (6) 閉会宣言(東北高体連自転車競技専門部委員長 佐藤 真)
 (7) 閉式通告
- 4 選考会議
 平成30年6月16日(土) 表彰式終了後 紫波自転車競技場 管理棟2階会議室
 選考委員：各県2名(各県委員長・他1名)
 17日(日) 競技終了後 紫波町総合体育館内
 選考委員：各県2名(各県委員長・他1名)

インターハイ出場選手選考手順

- 各県高校総体で出場権を獲得した選手の確認 個人ロードレース各県1名 計6名
- 東北大会の結果により、下記の通り決定する
 - スプリント・1kmTT・3kmIP・ケイリン 各上位6名
 - 4km速度競走・ポイントレース・スクラッチ各上位6名
 - チーム・スプリント・4kmチーム・パーシュート 標準タイム以内
 - 個人ロードレース 県代表者を除いて上位から11名
- インターハイ標準タイムをクリアしていなければ出場できない。
- 同一校が4kmチーム・パーシュートとチーム・スプリントの両方に入賞した場合、当該校の監督はいずれかを選択する。
- ブロック割当人数は53名以内とする。

平成30年度全国高校総体の標準タイム(手動計時)について

男子種目	電子計時	手動計時
1km タイムトライアル	1分10秒960	1分10秒660
3km インディヴィデュアル・パーシュート	3分42秒040	3分41秒740
チーム・スプリント(333.3m) (400m)	1分08秒190	1分07秒890
	1分22秒190	1分21秒890
4km チームパーシュート	4分41秒110	4分40秒810